



ぐるーぷほーむ新聞



令和2年11月号

秋も深まり、めっきり日脚も短くなって参りました。いかがお過ごしでしょうか。

全国的にも、新型コロナウイルスの感染者数はかなり減少してきました。入居者様の健康を守る為にも、まだまだ気を緩めることはできませんが、確実な感染予防策を講じながら、新しい生活様式を作っていかなければなりません。10月から面会が一部再開となり、入居者様の安堵の表情や歓喜の声に、私たちスタッフも顔がほころんでしまいます。これからはインフルエンザの季節でもあり、“ツインデミック”が懸念されているなか、先日入居者様もスタッフも、インフルエンザの予防接種を受けました。

なかなか自由な外出がしづらい中、ホーム内は様々な工夫をしながら活気ある毎日を過ごしてもらっています。おしるこやゼリーなど、戸棚であるもので3時のおやつを作ったり、地域の保育園の子供たちからの贈り物に、制作でお返ししたりもしました。9月～10月の防水工事に伴い、屋上が綺麗に塗装されたのですが、お天気の日には開放的な空間を、ゆったりと散歩しています。

9月は敬老会が行われ、家族の参加が出来ずに例年とはまた違う雰囲気となりました。家族がいないからなのか、食事がバイキング形式でなかったからなのか、例年に比べてビールやお酒はあまり進んでいませんでしたが、「久々飲んだらおいしいね!」と喜ぶ姿がありました。食後は4つのゲームに何度も笑い声が響き、スタッフが手作りした亀のキーホルダーとひよこの紅白饅頭、という記念品にとっても感激されていました。10月には避難訓練、秋祭りを開催し、ホーム全体で行う催しも、皆様参加され楽しまれている様子です。

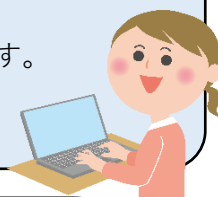
この新聞では伝えきれないくらい、毎日いろいろなことがあり、沢山の笑顔と、笑い声がホームにあふれています。スタッフ一人一人の優しい笑顔、丁寧な声掛けが、ホームとしての自信だなあと感じる事が日常的にあります。過度評価とならないよう、これからもスタッフ一同、精進して参ります。

日頃のケアや生活についてのご希望やご要望、何かお気づきの点などございましたら、どうぞお気軽にお問合せ下さい。

令和2年11月 主任 K

10/2 (火) 毎年行っている、外部評価が行われました。

今年は初めてのオンラインでの開催でした。結果は運営推進会議(書面)の中でお知らせして参ります。アンケートにご協力を頂きまして、ありがとうございました。



新しい仲間が増えました!

どうぞ、よろしくおねがいします～。

K・T 様

特養勤務を経て、10月よりライフケア大手門に入職致しました。入居者様が、笑顔多くお過ごし頂けるように頑張ります。



職員 T



福岡市内の高校にて、“認知症サポーター養成講座”



ホームの様子



地域との交流



お返事に秋の便りを制作しました。
また、遊びにきてね～！



おいしいね～！

地域の保育園の子どもたちから、
可愛い贈り物が届きました！

お食事作り



おしるこ作り



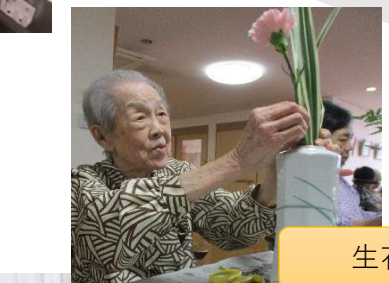
おやつ作り



ゲーム



体操



生花

リハビリ



書道



ぬりえ



屋上散歩



ついに箕子小学校の体育館の、
解体工事が始まりました。少し
淋しいですが、令和の街並み
になっていくのですね。

